

記者資料提供（2024年6月6日）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）加藤、大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



# KIITO:

団地のこれからをみんなで考える。  
「+クリエイティブゼミ リサーチャー養成編」を開講

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりゼミを開講いたしますのでご案内いたします。

## +CREATIVE SEMINAR vol.40

リサーチャー養成編

### リサーチ・リテラシーを学ぶ 例題5:団地のこれからをみんなで考える。



デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）では、+クリエイティブゼミ vol.40 リサーチャー養成編「リサーチ・リテラシーを学ぶ 例題5:団地のこれからをみんなで考える。」を開講します。

本ゼミは、神戸市内の「空き家」をテーマとして実施する+クリエイティブゼミの第3弾です。全国的に増え続ける空き家は老朽化や安全面など、神戸のまちにおいても大きな課題となっています。今回は団地の空き店舗や空き室が増えている灘区を対象エリアに実施します。大阪大学 C0 デザインセンターの山崎吾郎さんを講師に迎え、フィールドワークに重きを置く「文化人類学」の観点から「リサーチ」にフォーカスし、その手法を学びながらこれからの団地のあり方や地域の豊穡化について、グループワークを通して参加者と一緒に考えていきます。リサーチ手法を学びたい方、空き家問題などに興味関心のある方のご参加をお待ちしております。

#### 【開催概要】

+クリエイティブゼミ vol.40 リサーチャー養成編「リサーチ・リテラシーを学ぶ

例題5:団地のこれからをみんなで考える。」

日時: 2024年6月25日（火）、7月2日（火）、9日（火）、16日（火）、23日（火）19:15~21:15 全6回

フィールドワーク: 2024年6月29日（土）予定 ※日程変更の可能性があります。

場所: デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）3F 303 ※フィールドワークのみ灘区内での開催を予定

講師: 山崎吾郎（大阪大学C0デザインセンター 教授）、永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長）

対象: 原則として全日程参加可能な方、リサーチ手法を学びたい方、空き家問題に興味関心のある方など

定員: 25名程度（事前申込制、先着順） 参加費: 無料

申込期間: 2024年6月6日（木）14:00からWebサイト（<https://kiito.jp/>）にて申込受付開始

主催: デザイン・クリエイティブセンター神戸 協力: 神戸市灘区役所総務部地域協働課

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

開館時間 | 9時~21時 休館日 | 月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日）

WEB | <https://kiito.jp/>

## 講師コメント

多くの利害や関心、そして立場や思惑が絡まり合って「正解」が見えなくなってしまう社会の問題を、私たちは「やっかいな問題」と呼んできました。このリサーチゼミでは、大阪大学で実施している授業と連動して、やっかいな問題に取り組むためのリサーチのあり方を実践的に学んでいきます。こんがらがった現実を自分の目で確かめ、考え、そして思いついたアイデアを仲間と共有しましょう。問題を解きほぐしながら、社会との関わり方が新たに生み出されていくような機会になればと思います。

—山崎吾郎

KIITOのリサーチゼミは、この2年間、長田区の「空き家」を対象に実施しました。その成果として、長田区でゼミ生たちによるアクションプランのトライアル実施が始まっています。今後も地域を巻き込みながら、ゼミ生たちのアクションプランを随時実施する予定です。長田区での成果を受けて、今年度は灘区に舞台を移し、団地を活用した地域豊穡化のためのアクションプランづくりに取り組みます。綿密且つ画期的なリサーチは豊かなアクションプランのために必要不可欠です。リサーチと企画の両方をしっかり学べる貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください！—永田宏和

## 講師プロフィール



山崎吾郎（大阪大学COデザインセンター 教授）

1978年生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学、博士（人間科学）。

専門は文化人類学。主な仕事に『臓器移植の人類学：身体の贈与と情動の経済』（単著、世界思想社、2015年）、『やっかいな問題はみんなで解く』（共編著、世界思想社、2022年）、『構造と自然：哲学と人類学の交錯』（共編著、勁草書房、2022年）などがある。



永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長）

1968年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、

2001年「iop都市文化創造研究所」を設立。2006年「NPO法人プラス・アーツ」設立。2012年8月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長、2021年4月よりセンター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪2009・水辺の文化座」「イザ！カエルキャラバン！（2005～）」「地震EXPO（2006）」「ちびっこうべ（2012～）」「EARTH MANUAL PROJECT展（2013～）」などがある。

## +クリエイティブゼミとは

社会的な課題に対して「+クリエイティブ」なアプローチで解決する考え方や手法を、リサーチや小グループでのディスカッション、プレゼンテーションを通してゼミ形式で学べるプログラムです。これまでに39回のゼミを開講し、扱うテーマは、まちづくり・観光・シニア・障害者福祉・食・子育てなど、多岐にわたっています。また、「date.KOBE」「神戸 PANPO」「仮設のピザ窯」など、多くのプロジェクトがゼミをきっかけにスタートし活動を続けています。



グループワークの様子



フィールドワークの様子



最終発表会の様子